



ドリームビョニ

八束のひろは

～八束公民館報 第 10 号～

発行:松江市八束公民館運営協議会 〒690-1404 松江市八束町波入2219-2 Tel(0852)76-3663 Fax(0852)76-3669

八束のまちづくり



八束町が新松江市の一員としてスタートし十年が経ちました。地域が主体となって、文化・福祉・環境な

どの地域課題の解決を図りながら進める八束のまちづくりについては、これを担う基幹組織も自治会連合会、地区社会福祉協議会、公民館運営協議会と順次設立され、様々な活動が連携して取り組まれるようになりました。又合併時に、十年間の予定で八束地域協議会が設けられ、地域のまちづくりを推進するための「八束地域まちづくり指針」を支所と共同で作成し、まちづくり予算などを活用しながら様々な活動支援が行われてきました。合併後から始まった地域主体のまちづくりの取り組みの一部をご紹介しますと☆環境保全や安全・安心などに関する活動としては

○町内全地区に自主防災組織が結成され、現在は自主防災組織が中心となつて年一回防災訓練が行われています。
○八束町北西岸残存水域の環境美化のため、千本余りの桜が植栽されており、桜の会を中心に除草や病害虫防除などの管理作業が行われています。
○子ども安全対策連絡会を中心に、登下校時の見守りや青パト隊による見守りなどを通して、交通事故や不審

八束支所長 豊島 耕

者などから子供達の安全が守られています。

☆福祉、生きがい、賑わいづくりなどに関する活動としては

○八束地区社会福祉協議会が主体となり、民生委員や福祉推進員の協力のもと、高齢者の見守りや各地区での「どげな会」の開催など様々な福祉活動が行われています。

○八束町グラウンドゴルフ協会の活動を中心に、ぼたん祭りボタン・カップ大会や、各種大会への参加を通し、高齢者の生きがいづくり活動が行われています。

毎週土日に大根島産直市が開催され、野菜などが販売されています。これらの活動以外にも地域の皆様为主体となった様々なまちづくりの取り組みが行われています。大切なことは一部の人だけではなく、できるだけ多くの皆様が活動に関わり、活動の輪を広げていただくことが、地域の課題が共有され、解決に近づく一歩になるのではないかと思います。今後の八束のまちづくりについては、昨年度末で八束地域協議会が廃止され、今年度より八束公民館運営協議会を中心に話し合いが行われることになっています。

八束支所も、公民館、自治会連合会などの各種団体としっかり連携し、今後とも地域振興や住民サービスの向上に努めてまいりますので宜しくお願いいたします。



桜の会作業風景



防災訓練風景



見守り風景



産直市風景



どげな会風景

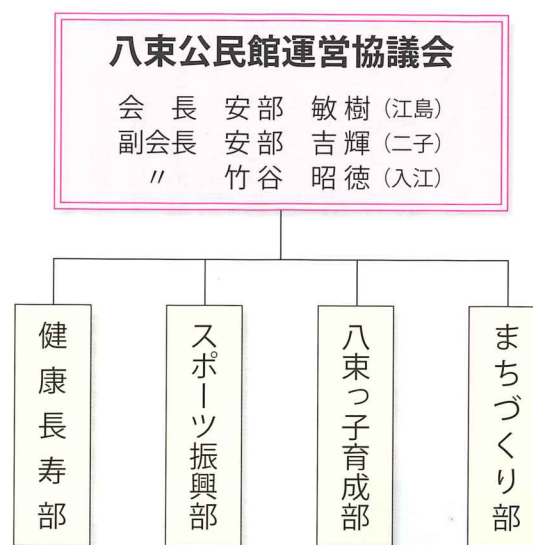


ボタンカップ大会風景

平成二十七年
度
八束公民館
運営協議会委員

[illegible]

八束公民館の運営については、地区内の関係機関、団体の代表者等で構成される八束公民館運営協議会を指定管理者とする指定管理者制度（平成二十二年度より）により行われている。



八束公民館運営協議会は、事業計画、予算および事業実施、決算等について審議決定する。また、八束公民館の事業を効果的に運営するために4専門部を置く。

各専門部は、事業内容の企画や有効な事業の展開等について、具体的な研究を行い、事業を円滑に運営する役割をもつ。

八束公民館専門部事業計画

スポーツ振興部

部長 萩原 治 (入江)
副部長 岡 登勇 (波入)

- 体育協会事業
- 町民スポーツ大会
- スポーツ教室

健康長寿部

部 長	門脇	賢 (入江)
副部長	門脇	繁 (暉江)

- 地区社会福祉協議会事業
- 健康福祉事業

八束っ子育成部

部長 竹谷 昭徳 (入江)
副部長 建田 浩司 (波入)

- 青少年健全育成事業
- 子ども安全対策事業
- ジュニアキッズ八束
- 家族体験活動
- 世代間交流事業
- 八束子ども広場事業
- 読書活動の推進



まちづくり部

部長 安部 吉輝 (二子)
副部長 池田 均 (暹江)

- 公民館全体の運営
- まちづくり
- 広報活動
- 人権・同和教育研修
- 成人講座・研修
- 伝統文化事業の継承
- 文化祭
- 文化講演会
- 地域防災
- サークル活動の推進
- 環境美化活動
- まち歩き探訪
- 桜まつり

平成二十七年 度 八東地区各種団体役員

自治会連合会

地域安全推進委員会

会長 安部 吉輝
副会長 門脇 正志
渡部 卓也
渡部 昇

会長 渡部 明夫
副会長 門脇 太夫
市民憲章推進協議会 池田 均
民生児童委員協議会 安部 吉輝

社会福祉協議会

更生保護女性会

会長 門脇 賢
副会長 池田 至郎
柏木 啓子

会長 門脇 賢
副会長 門脇 繁
竹谷 裕吉

体育協会

交通安全協会・交通安全対策協議会

会長 萩原 治夫
副会長 門脇 利夫
竹谷 広行

会長 渡部 天津子
副会長 足立 住子
安部 まり子

高齢者クラブ連合会

松江市消防団八東方面団

会長 渡部 建志
副会長 柏木 重康
藤井 伸士
門脇 春子
安部 道子

会長 安部 吉輝
副会長 中村 勢次郎
竹谷 眞治

人権同和教育推進協議会

八東学園PTA

会長 渡部 耕二
副会長 門脇 繁
青少年健全育成協議会 建田 浩司
会 長 竹谷 昭徳
副会長 竹谷 昭徳

会長 竹谷 昭徳
副会長 門脇 利夫
八東学園PTA 岩田 美登里
会 長 小椋 章平
副会長 岩田 紘美

子ども安全対策連絡会

交通安全対策協議会

会長 竹谷 昭徳
副会長 渡部 明夫

会長 岩田 美登里
副会長 岩田 美登里

平成26年度 松江市八東公民館運営協議会 決算書

収入 (単位: 円)

費 目	決算額	説 明
市費		
公民館指定管理料	18,315,574	松江市委託料
社会人権同和教育推進事業委託料	160,000	社会人権教育推進事業委託料
地元費		
寄 付 金	73,800	サークル・個人 寄付金
受 講 料	229,400	教室受講料
使 用 実 費	420,701	会場使用実費 印刷費 等
雑 収 入	5,241	電話使用料 利息 等
繰 越 金	87,604	前年度繰越金
合 計	19,292,320	

支出

費 目	決算額	説 明
人 件 費	10,801,606	職員給料 等
管 理 費	6,128,627	需用費 委託料 役務費 等
事業費		
総 務 部 費	173,296	館報 公民館たより 等
青 少 年 部 費	371,015	青少年健全育成 ジュニアキッズ八東 家族体験活動 世代間交流事業 等
文 化 部 費	588,370	文化祭 盆踊り にんじん学校 文化講演会 伝統文化事業 等
市民憲章推進費	116,538	クリーンやつか かるた大会 花づくり おもてなし講座 等
社会人権同和教育推進事業費	201,532	視察研修 研修会 等
健康福祉部	14,622	男の料理教室 等
地 域 活 動 費	128,527	やんべなクイズラリー 交流活動 本の読み聞かせ 等
研 修 活 動 費	439,538	研修費 旅費 運協連・館長会負担金
総 合 補 償 費	194,000	行事傷害補償 賠償責任補償
合 計	19,157,671	

差引残額 134,649

平成27年度 松江市八東公民館運営協議会 予算書

収入 (単位: 円)

費 目	予算額	説 明
市費		
公民館指定管理料	18,957,520	松江市委託料
社会人権同和教育推進事業委託料	150,000	社会人権教育推進事業委託料
地元費		
寄 付 金	50,000	サークル寄付金
受 講 料	180,000	教室受講料
使 用 実 費	400,000	会場使用実費 印刷費 等
雑 収 入	831	電話使用料 利息 等
繰 越 金	134,649	前年度繰越金
合 計	19,873,000	

支出

費 目	予算額	説 明
人 件 費	11,596,508	職員給料 等
管 理 費	6,057,992	需用費 委託料 役務費 等
事業費		
総 務 部 費	160,000	館報 公民館たより 等
青 少 年 部 費	328,000	青少年健全育成 ジュニアキッズ八東 家族体験活動 世代間交流事業 等
文 化 部 費	590,000	文化祭 盆踊り にんじん学校 文化講演会 伝統文化事業 等
市民憲章推進費	117,000	クリーンやつか かるた大会 花づくり おもてなし講座 等
社会人権同和教育推進事業費	250,000	視察研修 研修会 等
健康福祉部	30,000	男の料理教室 等
地 域 活 動 費	128,000	やんべなクイズラリー 交流活動 本の読み聞かせ 等
研 修 活 動 費	405,000	研修費 旅費 運協連・館長会負担金
総 合 補 償 費	210,500	行事傷害・賠償責任・職員災害補償
合 計	19,873,000	

差引残額 0

平成26年度 八束体育施設 決算書

収入 (単位:円)		
費 目	決算額	説 明
指 定 管 理 料	10,100,000	松江市委託料
利用料 (体育館)	643,140	施設利用実費
利用料 (野球場)	832,700	施設利用実費 照明 ホワイトライン
利用料 (多目的)	1,080	施設利用実費
利用料 (テニスコート)	439,260	施設利用実費 照明
雑 収 入	176,586	利息 自動販売機電気代 電話使用料
合 計	12,192,766	

支出 (単位:円)		
費 目	決算額	説 明
人 件 費	2,819,915	臨時職員1名 パート職員2名分 共済費
消 耗 品 費	229,094	ビッチャープレート ホワイトライン テニスネット コートブラシ 等
燃 料 費	29,821	ガス代 ガソリン代
印刷製本費	10,000	印刷代
通信運搬費	70,087	電話料金 有線料金
光熱水費	4,906,131	電気 水道 下水道料金
修繕費	406,782	体育館ギャラリー暗幕 EV室ドアセンサー 運動場本部野照明機器 プレート取付 等
使用料及び賃借料	50,220	マット・モップリース料
保険料	154,060	施設保険料
原材料	99,360	土購入代
委託料	3,240,863	除草業務 昇降機保守 等
自動販売機電気料	57,067	電気代
行政財産使用料	119,366	自動販売機設置使用料
合 計	12,192,766	

差引残額 0

平成27年度 八束体育施設 予算書

収入 (単位:円)		
費 目	予算額	説 明
指 定 管 理 料	10,100,000	松江市委託料
利用料 (体育館)	630,000	施設利用実費
利用料 (野球場)	854,000	施設利用実費 照明
利用料 (多目的)	6,000	施設利用実費
利用料 (テニスコート)	430,000	施設利用実費 照明
雑 収 入	309,200	利息 自動販売機電気代 使用料 等
合 計	12,329,200	

支出 (単位:円)		
費 目	予算額	説 明
人 件 費	3,086,000	職員1名 パート職員2名分 共済費
消 耗 品 費	120,200	施設消耗品
燃 料 費	34,000	ガス代 ガソリン代
印刷製本費	10,000	印刷代
通信運搬費	75,000	電話料金 有線料金
光熱水費	4,815,000	電気 水道 下水道料金
修繕費	200,000	施設修繕
使用料及び賃借料	60,000	マット・モップリース料
保険料	165,000	施設保険料
原材料	55,000	土購入代
委託料	3,400,000	除草業務 昇降機保守 等
自動販売機電気料	174,000	電気代
行政財産使用料	135,000	自動販売機設置使用料
合 計	12,329,200	

差引残額 0

平成26年度 八束町体育協会 決算書

収入 (単位:円)		
費 目	決算額	説 明
会 費	616,000	500円×1,214世帯 3,000円×3団体
補助金	210,000	松江市地域体育協補助金 150,000 松江市大運動会助成金 60,000
雑 収 入	102	利息 等
繰越金	355,821	前年度繰越金
合 計	1,181,923	

支出 (単位:円)		
費 目	決算額	説 明
会 議 費	0	
事 務 費	68,823	切手 消耗品 印刷費 等
用 具 費	122,624	スナッグゴルフ用具
助 成 金	90,000	30,000×3大会 中海カップテニス 大根島カップバレー グラウンドゴルフ
育 成 費	250,000	50,000円×5スポーツ少年団体 野球 サッカー バレー 柔道 卓球
負 担 金	30,000	松江市地域体育協会連合会負担金 松江体育協会新年総会負担金
派 遣 費	98,480	市民体育祭交通費 保険料 等
事 業 費	150,015	町民スポーツ大会 スポーツ教室 等
予 備 費	0	
合 計	809,942	

差引残額 371,981

平成27年度 八束町体育協会 予算書

収入 (単位:円)		
費 目	予算額	説 明
会 費	610,500	500円×1,203世帯 3,000円×3団体
補助金	330,000	松江市地域体育協補助金 150,000 町民体育祭補助金 180,000
雑 収 入	519	利息 等
繰越金	371,981	前年度繰越金
合 計	1,313,000	

支出 (単位:円)		
費 目	予算額	説 明
会 議 費	10,000	お茶代
事 務 費	70,000	消耗品 切手代 印刷費
用 具 費	160,000	用具代
助 成 金	90,000	30,000×3大会 中海カップテニス 大根島カップバレー グラウンドゴルフ
育 成 費	150,000	30,000円×5スポーツ少年団体 野球 サッカー バレー 柔道 卓球
負 担 金	45,000	松江市地域体育協会連合会負担金 松江体育協会新年総会負担金
派 遣 費	180,000	市民体育祭交通費 保険料 等
事 業 費	600,000	町民体育祭 町民スポーツ大会 スポーツ教室 等
予 備 費	8,000	
合 計	1,313,000	

差引残額 0

公民館スタッフ

館長 池田 均
職員 入江 達也
太田美喜子
濱崎 深雪
安部美代子

地方創生のカギは、人材育成に尽きると思います。現状はオリンピックが開催される東京都に仕事と人が集中し、一方、地方といわれる四十六道府県がハード面等に力を入れ、地方創生対策として、ハコモノや道路網の整備等を競っておこなえば、財政力の乏しい島根県は他県に勝てるはずもないし、人口は益々減少します。松江市の創生は、各地域が若者と一緒に将来を考え、若者が自発的に行動を興す意識が大変重要です。そのためには、企業・行政などあらゆる分野のリーダーが本気で若い人材を育成し、「仕事を創ることができる若い人材を育てること」ではないでしょうか。(池)

あ
と
が
き